



地域医療連携 ニュース

TOPICS

- 循環器内科の取り組み
- 消化器センターのご紹介
- 産婦人科の取り組みについて
ー 中期精密超音波検査について ー
- 放射線治療科の取り組み
- 患者さんのご紹介について

地域医療連携室 TEL:045-974-6571
FAX:045-974-4325

地域との連携を重視し循環器高度医療を提供します。



藤が丘病院 副院長
循環器内科 診療科長

鈴木 洋

Hiroshi Suzuki

昭和大学藤が丘病院は横浜市北部地域の中核病院として、また大学病院として日々診療や研究に励んでいます。循環器内科は、循環器センターとして心臓血管外科と綿密な連携のもとに、当地域唯一の救命救急センター保有施設として心筋梗塞、心不全等の緊急患者さんを数多く受け入れ、24時間365日カテーテル治療を行っております。**緊急の心疾患が疑われる患者さんに関しては、心臓ホットライン (070-5557-6035) まで直接お電話をいただくと循環器内科医師が直接対応させていただきます。**また、心房細動を中心としたカテーテルアブレーションや新しいタイプのペースメーカー技術を用いて不整脈の最新治療にも力をいれており、心不全に関しても、ファブリ病、サルコイドーシス、アミロイドーシス等の二次性心筋症も含めた治療が可能です。

また、心臓病以外では、肺高血圧症に関しては肺高血圧症外来を設けており、薬物療法や慢性肺血栓塞栓症に対するカテーテル治療（肺動脈形成術）も当地域では唯一可能な施設です。一方、閉塞性動脈硬化症等の血管疾患の治療にも力を入れており、多数の患者さんのカテーテル治療を行っております。循環器内科以外の部門とも連携のうえ、CLI(重症下肢虚血) センターで集学的治療を行っています。最近では、下肢静脈瘤に対するカテーテル治療も開始しており、あらゆる心臓血管疾患に対応できるようになりました。

また、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院においては、藤が丘病院循環器センターで急性期治療を行った心筋梗塞、心不全、心臓血管外科術後の患者さんのリハビリテーションにも力をいれています。横浜市心臓リハビリテーション強化指定病院に認定され、当地域の中心施設として、外来リハビリテーションも多数行っています。

このように、今後も当地域の中核病院として循環器疾患の急性期治療、高度医療のみならずリハビリテーションを積極的に行っていきます。また、これまで以上に地域の患者さんや近隣の先生方に信頼される循環器内科を目指していきますのでよろしくお願い致します。

消化器センターのご紹介

昭和大学藤が丘病院では、2020 年以降、消化器内科および外科で消化器センターを構成し、
両診療科が密接な協力体制を確立しつつ診療・治療にあたっています。

- 消化器センター内科では消化管・肝胆膵領域の良性・炎症性疾患から癌などの**悪性疾患を対象として診療と研究を行っており、特に内視鏡診療に注力していることが特徴で、年間 1 万件を超える内視鏡を実践しています。**
- 上下部内視鏡は全例拡大内視鏡を使用した screening による高精度の内視鏡診療を提供しており、消化管における早期癌の内視鏡治療、特に粘膜下層剥離術 (ESD) では難易度の高い病変にも積極的に対応しています。
- さらに外科と協力して胃粘膜下腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 (LECS) も行っております。また膵癌・胆道癌の早期発見を目指した超音波内視鏡検査 (EUS)、超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診・生検 (EUS-FNA・B) も積極的に施行しており、感染性膵嚢胞や閉塞性黄疸に対する EUS 下ドレナージも行っています。
- 急性胆管炎・急性膵炎・消化管出血などの急性期疾患については救命救急センターと連携して 24 時間体制で緊急内視鏡検査が可能な体制を整えております。

消化器内科

診療科長

なが はま まさ つぐ
長 濱 正 亜



- 消化器センター外科では、従来は上部あるいは下部消化管疾患を中心に低侵襲手術を積極的に行って参りましたが、近年ではさらに**ロボット手術を取り入れ、より患者さんに優しい手術、正確な手術を提供しております。**
- また、肝胆膵疾患では血管合併切除や人工血管置換による手術、多段階手術など高難度手術に積極的に取り組み、2023 年度より日本肝胆膵外科学会の定める高度技能専門医修練施設 A の認定を受けています。
- 現在では肝胆膵疾患も内視鏡下での低侵襲手術に力を入れて取り組んでいます。また鼠経ヘルニアなどの一般外科疾患の治療も内視鏡下で実績を積み上げており、今後は全ての疾患でロボット手術を取り入れて治療を展開していきたいと考えております。

消化器外科

診療科長
センター長

た なか くに や
田 中 邦 哉



消化器センタースタッフ一同、一丸となって高品質・高難度な医療を高い満足度を持って地域の皆様に受けて頂けるよう日々努力しております。
引き続きご支援・ご指導のほど宜しくお願い致します。



産婦人科の取り組みについて

－中期精密超音波検査を積極的に行っております。－

産婦人科 講師 まつ うら れい
松 浦 玲

当院では、妊娠 20 週頃に行う中期精密超音波検査を積極的に行っております。

中期精密超音波検査とは、胎児や付属物の形態を超音波で詳細に評価することで、その後の周産期管理の質を向上させる検査です。

中期精密超音波検査は出生前検査のひとつですが、超音波検査を行う前に知りたい情報についての事前アンケートを行うことで、妊婦さんが安心して検査を受けられるよう配慮しております。

また、当院ではトレーニングを受けた産婦人科医のみが超音波検査を行っており、質の高い検査を提供しております。

検査結果は「所見あり」・「所見なし」・「描出困難」といったチェックシートを用いて記録することで、評価が均一で理解しやすいものになっております。



中期精密超音波検査中の写真



お気軽に患者さんよりお電話で予約をお取りいただけます。

予約専用電話番号 045-974-6650

放射線治療科の取り組みについて

放射線治療科 診療科長 いま い あつし
今 井 敦



放射線治療は、がん治療において手術、化学療法などとともに重要な役割を果たしています。ことに近年、コンピュータ技術の進歩に支えられ著しい発展を遂げています。

当院に導入されている直線加速器も最先端の高精度放射線治療に対応しています。たとえば体幹部定位放射線治療です。小さな肺がんであれば周囲の正常な肺組織にできるだけ放射線があたらない治療が可能となり、手術のできない患者さんの治療選択肢となっています。一方、頭頸部や骨盤内の腫瘍のように重要臓器に囲まれた上複雑な形状をした標的への照射には強度変調放射線治療（MRT）と呼ばれる

高精度放射線治療が有効です。

おかげさまで現在たくさんの患者さんの治療を行わせていただいております。近隣の先生方からも特に乳がんの術後照射のご依頼をたくさんいただいております。

ご紹介から治療の開始まで、できるだけ速やかに進めるように心がけております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



患者さんのご紹介について

— 地域医療連携室 —

医療機関より当院に患者さんをご紹介いただく場合、
地域医療連携室では下記 2 つの方法による予約取得が可能です。

※受付時間 月曜日～土曜日 8:30～17:00



電話で予約する：045-974-6571

- 上記**医療機関専用**電話回線へご連絡ください。
- 患者さんの情報等を確認させていただき、ご予約をお取りいたします。なお、当日のご予約はお取りしていませんので受診希望の方は上記お問合せ先にご相談ください。



FAXで予約する：045-974-4325

- 「患者保険情報連絡票」を FAX 送信してください。「患者保険情報連絡票」は当院ホームページからダウンロードが可能です。
- 予約状況確認後、予約票兼連絡票を FAX いたしますので患者さんにお渡ししてください。
- 15 分以上経過しても予約票兼連絡票が届かない場合、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。

当日の緊急性のある患者さんのご紹介について

緊急性のある紹介患者さんの受け入れについて、地域医療機関より地域医療連携室へご連絡ください（電話番号、FAX 番号同上）。直接医師同士でお話しいただくことも可能ですので、必要な際は申し付けください。

- 時間外（17:00～翌 8:30）・日曜日・祝日・創立記念日（11/15）は救命救急センターにつながります。



昭和大学
藤が丘病院

地域医療連携ニュース 3号（2024年2月発行）
〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1-30
地域医療連携室 TEL：045-974-6571 FAX：045-974-4325



昭和大学藤が丘病院